

2012 年度事業報告書

認定特定非営利活動法人 トゥギャザー

I 事業期間

2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日

II 事業の成果

今期は事業としては従前よりの継続事業が中心だったが、内容的には助成金関連の比重が高まったのが特色である。業績的には前期に続いて黒字基調の決算を維持することができた。特筆すべきは 2 月に念願の認定 NPO 法人の資格を取得することができたことだ。昨年 4 月の NPO 法改正後、所轄庁である大阪府認定第 1 号である。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

- (1) (事業名) 障害者施設において生産された製品の販売支援事業
(内 容) 年賀寄附金の助成金に「“郵便協働”による施設製品のカタログ販売事業」に平成 22 年度に引き続いて採択された。施設のお菓子をギフト商品に仕立ててカタログを近畿一円の郵便局に置いて“郵便協働”で地域とのつながりを深めて新しい販路の開拓を行うもので大きな成果を上げることができた。また、震災以降、被災地の施設製品の販売がいつそう厳しいことから昨年度に引き続いて積極的に販売支援活動を行った。企業と連携して職域販売や各種バザー等で販売に注力して被災地の施設からも大変喜ばれた。
- (実施場所) 大阪を中心に全国
(実施日時) 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
(事業の対象者) 施設で働く障害者
- (収 入) ￥31,033,360
(支 出) ￥27,655,261
- (2) (事業名) 障害者施設において生産される製品の品質向上支援
(内 容) 平成 23 年度よりの継続事業として大阪府公募の「新しい公共の場づくりのモデル事業」を実施した。その事業の一環として堺市と共同して障害者施設の職員を対象に研修会を開催。ものづくりを基礎から考え、事業計画の立て方や、計数管理の方法、デザイン処理・販売時の接客など広範囲で学ぶ場を設けた。菓子部門では昨年引き続き辻学園調理・製菓専門学校において研修会を開催し、新商品の開発もコーディネートした。
- (実施場所) 大阪府内
(実施日時) 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
(事業の対象者) 施設で働く障害者
- (収 入) ￥1,886,780
(支 出) ￥1,385,712

(3) (事業名) 障害者の経済自立のための就労支援事業

(内 容) 同じく大阪府公募の「新しい公共の場づくりのモデル事業」の一環として、昨年
に引き続き主に堺市内の中小企業を対象に障害者雇用に関するアンケートを行い、
障害者の就労につながるよう働きかけた

(実施場所) 大阪府内

(収 入) ￥6,661,000

(支 出) ￥5,232,876

(4) (事業名) 障害者の自立と社会参加への啓発事業

(内 容) 今年度も12月に“障害者週間行事”として梅田スカイビルにて販売会とシン
ポジウム・企業展示会を開催。シンポジウムでは「障害者の就労と自立を
支援する社会づくりのために～障害者優先調達推進法成立がもたらす変化」
をテーマに講演やディスカッションを行った。また、活動についての講演の
依頼を受け、啓発を促した。

(実施場所) 大阪府内

(実施日時) 2012年4月1日～2013年3月31日

(事業の対象者) 施設で働く障害者

(収 入) ￥14,108,549

(支 出) ￥13,918,907

(5) (事業名) 障害者の自立支援を目的とした住宅施設への助言・仲介事業

(内 容) グループホーム・ケアホームに関する相談(主として建設)に対する助言を
行った。

(実施場所) 大阪府内中心全国

(実施日時) 2012年4月1日～2013年3月31日

(事業の対象者) 施設で働く障害者

(収 入) ￥1,054,568

(支 出) ￥152,272

2 その他の事業

なし

IV 社員総会の開催状況

第1回通常総会

(日 時) 2012年6月13日 11時から12時

(場 所) 大阪市浪速区難波中3-9-3

(社員総数) 90名

(出席者数) 65名(うち委任状出席者56名、書面表決者9名)

(内 容) 前年度決算書・今年度予算書承認

その他前年度事業の報告と今年度予定事業の報告

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会

(日 時) 2012年6月13日 12時から13時

(場 所) 大阪市浪速区難波中 3-9-3
(社員総数) 14 名
(出席者数) 14 名 (うち委任状出席者 5 名、書面表決者 9 名)
(内 容) 前年度決算書・今年度予算書承認
その他前年度事業の報告と今年度予定事業の報告